

「みらい」を語る総決起集会

弥彦村長選立候補の本間陣営

正直で真つ当な弥彦村を!!

細田代議士、桜井県議らが熱弁

寄せ書きのぼり旗立てて400人が必勝コール

35の

弥彦村長選挙に立候補を予定している元会社役員本間芳之氏(左)と上京の後援組織、本間よしゆき後援会(菅原健会長)は十四日午後二時から弥彦村農村環境改善センターで「みらい」を語る総決起集会を開き、来賓の国会議員、県議などをはじめ、集まった約四百人を前に本間氏は「絶対に負けることはできない。勝者も敗者もない、みんな一緒の弥彦村、私たちの愛するふるさと弥彦村、正直でまっすぐな、正常で真つ当な弥彦村をしっかりと皆さんと一緒に取り戻していく」と初当選に向けて支持を訴えた。

任期満了に伴う弥彦と、三選をめざす現職。この日は産業カレン村長選挙は二十四日告の小林豊彦氏(モモ)と龍ターが休みでなかったため、参加できない支現実させるため、絶大日開票される。本間氏いる。

満員の盛況。開会あいさつで、菅原会長は小林村政を批判し、「この恐怖政治をたたきこめさせなければならぬ。そのためには力を合わせて明るく未来のある弥彦村づくりのために本間氏を村長にしなければならぬ。本間村長を応援するため、絶大

い」と支持を求めた。ただ「だける」と称賛し、本間氏が当選した場合は来賓の細田健一衆議院議員は「役場は村民の意見を公平に聞いて、村民全員が笑顔になるように頑張る。どの村役場もそうじゃなくも村役場はそうじゃない。その状況で本間さんが立ち上がったのはありがたいこと。本間さんは本間に人柄が、大事な議論の場を自ら放棄することは民主主義の根幹を揺るがす危険な行為」と批判し、「弥彦村は燕市と一緒に協力している大事な

あいさつに立った本間氏は昨年九月の出馬表明からの四か月間を振り返り、「弥彦村の一人ひとりと会い、話をするなかで今の弥彦村の将来が心配、本間氏のことを知りたい、公平、公正な行政をつくらなければならない、皆さんの声を聞いていきたい。皆さんの声一つ一つ、思い一つ一つ、真摯(しんしん)と訴えた。



約400人が集まった総決起集会

しゆき「みらい」を語る総決起



本間氏を支援する超党派の「弥彦みらいの会」がリレートークで応援



「勝者も敗者もない、みんな一緒の弥彦村を皆さんと一緒に取り戻していく」と訴える本間氏

本間氏の支援を訴える来賓の細田衆議議員